

施策名 子どもの状況に応じた学びの充実

就学相談事業

保護者や子どもに寄り添い、適切な就学先につなぐ

就学相談事業について

【就学相談とは】

学校教育法に基づき障がいや発達特性などにより特別な配慮が必要な子どもの就学先を教育委員会が専門家と協議し、保護者と共に検討する公的な相談制度

【対象】

- 翌年度、小学校に入学予定の幼児（年長児）
- 小・中学校に在籍している児童・生徒と保護者

【就学先】

- 区立小・中学校
 - 特別支援学級（知的固定学級）
 - 通級指導学級（難聴・言語・弱視）、特別支援教室
- 都立特別支援学校（知的、肢体不自由、盲学校、ろう学校、病弱）

足立区 特別支援学級の紹介 ①

(令和8年4月1日現在)

学校	学級種別		障がい種別	学校数
小学校	特別支援学級	固定学級	知的	2 3校
		通級指導学級	難聴・言語	4校
			弱視	1 校
	特別支援教室		情緒等	6 7校（全校）
中学校	特別支援学級	固定学級	知的	1 2校
	特別支援教室		情緒等	3 5校（全校）

足立区 特別支援学級の紹介 ②

【特別支援学級（知的固定学級）】

知的障がい起因する学習の遅れ障がいがあるが、身の回りのこと（食事・衣服の着脱・排泄など）は自立している児童・生徒が対象
少人数（1クラス8名）で子の実態に合わせた授業を行う

【通級指導学級（難聴・言語障がい・弱視）】

きこえやことば、見えにくさに課題がある子が週に1回程度、在籍校から通級指導学級設置校に移動し指導を受ける（知的障がいがある場合は対象外）

【特別支援教室（コミュニケーションの教室）】

発達障がいや情緒面に課題がある児童・生徒が在籍校の特別支援教室に週1、2回程度移動し感情コントロールや円滑なコミュニケーションのための指導を受ける（知的障がいがある場合は対象外）

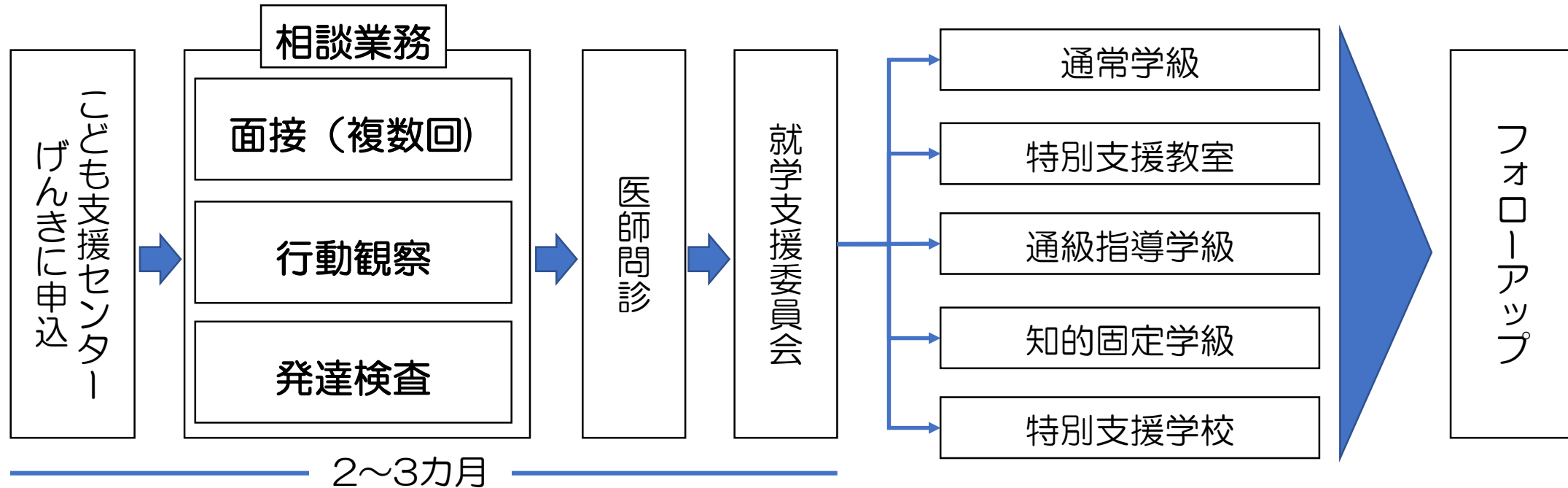
都立特別支援学校（小学部・中学部）の紹介

種別	学校名	所在地	備考
知的 肢体	花畑学園 ※	足立区南花畑	特別支援教育センター校 （支援エリア：足立区）
知的	水元特別支援学校	葛飾区西水元	
知的	墨田特別支援学校	墨田区八広	
知的	王子特別支援学校	北区十条台	
肢体	北特別支援学校	北区十条台	
視覚	葛飾盲学校	葛飾区堀切	
聴覚	葛飾ろう学校	葛飾区西亀有	

【知的】 知的障がいがあり、食事や排泄など日常生活での支援も必要な子どもが対象

【肢体・視覚・聴覚】 肢体不自由、視機能、聴力等に特別な指導を要する子どもが対象

就学相談の流れ



- 保護者面談で生活の様子や困りごとを把握
- 保育園や学校での活動の様子を把握
- こどもの心身の発達度合いを把握
- 知的障害の有無等をかかりつけ医等が診察

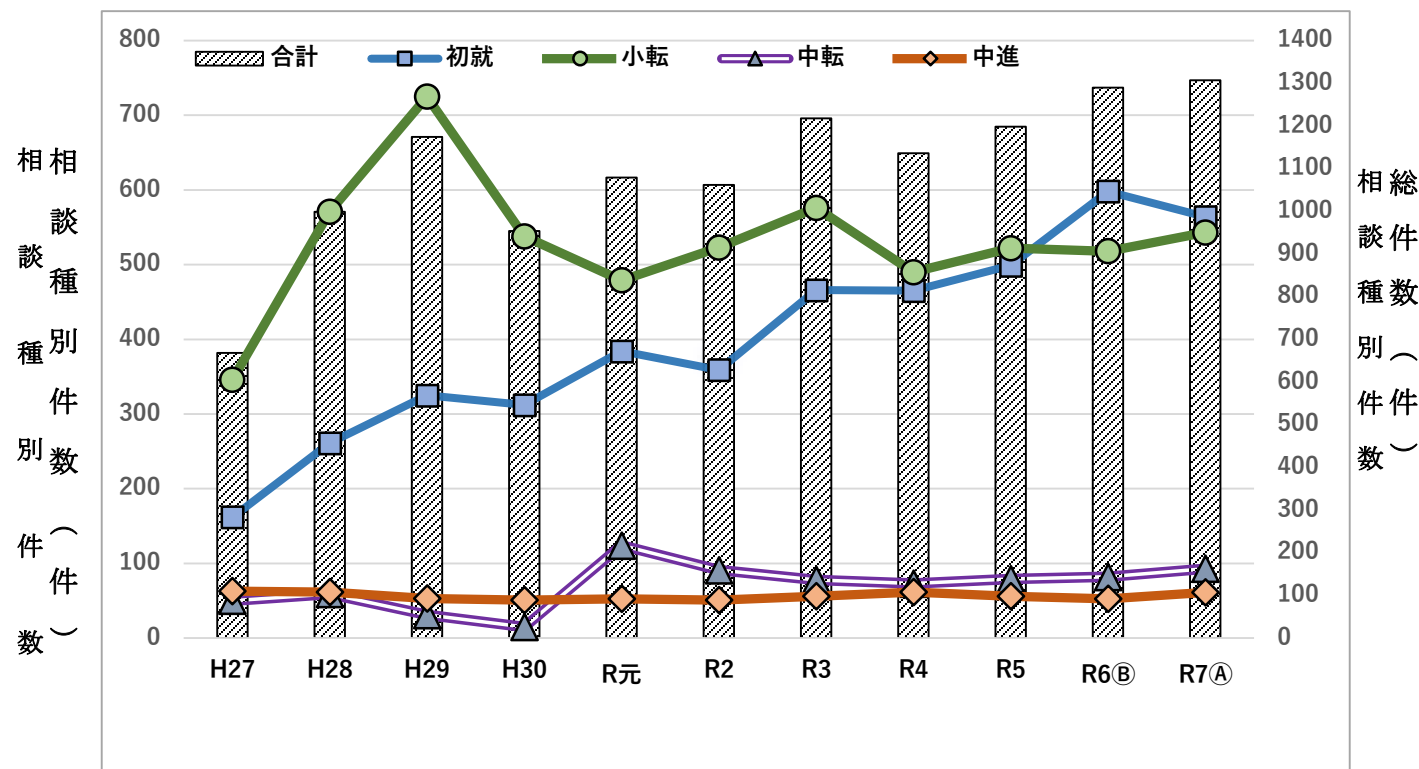


- 委員会で適正な就学先を判断

必要に応じて、学校を訪問して就学後の
こどもの様子を相談員が確認

学校生活や授業に対応できているかなどを
学校の先生や保護者と共有

就学相談実績 H27～R7



- 平成28年度から申し込み件数増加
- 令和3年度から、さらに増加

【申込増の要因】

平成28～30年

特別支援教室を区立小学校全校に設置

令和2年

特別支援教室を区立中学校全校に設置

初就：次年度、小学校就学予定の幼児

小転：小1～小6で特別支援学級等への入級を希望する児童

中転：中1～中3で特別支援学級等への入級を希望する生徒

中進：次年度、中学校進学予定の児童

就学相談実績 R1～R7 就学状況別

就学状況（R1～R7）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
知的固定	142	146	171	191	172	192	232
難聴・言語・弱視	55	60	88	59	65	74	59
特別支援教室	672	713	786	729	806	844	839
通常学級	51	24	28	23	21	35	35
特別支援学校	95	50	85	81	82	80	83
他(取下・区外転出等)	65	69	60	53	52	65	59
総計	1080	1062	1218	1136	1198	1290	1307

○知的固定学級・特別支援教室の件数が増加

【要因】

特別支援教室が全校設置により、利用しやすくなったこと

知的障がい及び発達障がいに対する保護者や学校の理解が広まった

就学相談実績 指標分析

指標	年度	R5	R6	R7	達成状況
就学相談が完結した割合 ※申し込み年度内に相談が完結した割合	目標 (申込件数)	100% (1198)	100% (1290)	100% (1307)	概ね達成
	実績 (完結件数)	99 (1193)	99 (1281)	99 (1298)	
	達成率	99%	100%	99%	

○指標分析 毎年増加する相談を滞りなく相談を終結させることを目標設定
保護者と連絡が取れないケースや年度末に相談を受けたケース以外は
相談を終結することができた

○課題 本来、相談を完結させるのは当然のことで、相談者の特別支援教育への
理解度や委員会判断への納得度を確認するための指標がなかった

就学相談 質の維持・向上 ①

R8～新たな指標を設定

指標	年度	R6	R7	R8
就学支援委員会の判断と異なる区分への就学 ※申し込み年度内に相談が完結した割合	低減目標			15件
	実績	21件	23件	
	達成率	99%	100%	99%

【判断と異なる就学とは】

特別支援学校の判断だが、特別支援学級や通常学級に就学

特別支援学級の判断だが、通常学級に就学

【主な理由】

- ・特別支援教育にマイナスイメージを持っている
- ・最寄校の定員超過で入級できない（知的固定学級の新設・増学級で対応）

【影響】

学校の授業が理解できなかったり、雰囲気になじめず、不登校につながるケースもある 10

就学相談 質の維持・向上 ②

就学相談の質の向上

- ① 特別支援学級等の見学や研修の実施により研鑽を積む
- ② 保育園等を訪問、行動観察で**対象児の実態を把握**
- ③ 悩んでいる保護者の面接等を増やし、**信頼関係を築く**

【課題】

行動観察を実施する時間の確保ができない（1件につき4時間程度要する）

発達検査には、公認心理士などの資格が必要なため、**他の係員が対応できない**

	相談員数	申込数	発達検査数	発達検査数 (一人当たり)
R5	11名	1200件	573件	52件
R6	12名	1292件	574件	48件
R7	9名(3欠)	1307件	589件	66件

検査1件につき3～4時間程度要する

- ・ 検査に1時間前後
- ・ 検査後の所見書作成に2～3時間

【対応】

R7.12から発達検査を外部委託（実績70件）

R8年度も外部委託を実施予定（150件）→3h×150件＝**450時間**確保

○行動観察実施数を**30件→100件**に増加

○面接時間を確保



保護者に寄り添い、丁寧に説明し、特別支援教育について、
理解を深めていただき、子の将来を見据えたイメージを共有し
適正な就学につなげる

就学相談 予算・決算分析

事業費(千円) 執行率(%)	R5決算額	R6決算額	R7決算額	R8予算額
総事業費	4,670 89.3	4,662 76.9	8,296 70.5	12,577
報償費	3949 90.3	3866 84.9	4,219 86.5	4,850
手数料	168 82.8	198 83.5	276 91.1	303
委託料			2,741 49.6	5,522
その他 (消耗品・備品)	553 84.8	598 47.1	1,060 99.1	1,902

・報償費 医師診察の報償費

主にかかりつけ医のいない子どもを診察

・手数料 かかりつけ医で医師診察記録を作成した場合の文書料

・委託料 発達検査の外部委託 **R7年度新規**

R7年度 就学相談員欠員により就学相談業務が滞る恐れがあり導入 ⇒**滞ることなく相談終結**

試験的な導入で委託案件を絞ったため執行率が低くなった

R8年度 就学相談員欠員解消済

面接時間や**行動観察実施件数**を増やし、**より丁寧な対応**をするため委託を継続

就学相談員として心掛けていること

- 様々な障がいを持っていたり、それぞれの発達段階にあるお子さんの将来をイメージしながら、保護者と一緒に学びの場を考えるようにしています。
- 保護者の気持ちに寄り添いつつも、お子さんの実態に応じた就学先につなげていけるよう、情報提供しています。
- お子さんの実態と保護者の希望に大きな違いがあり、適正就学につなげることが困難なときでも、実態に合った就学先を検討してもらうことから逃げないで向き合うようにしています。

就学相談でやりがいを感じる時

○お子さんに合った学びの場で成長したことが感じられる時

○就学相談の結果、特別支援学級と判断が出たが、保護者が通常学級を希望することがあります。検査の数値を根拠に、子どもの得意なこと、不得意なことを丁寧に説明することで、適切な支援を受けることに保護者に納得してもらうことができました。

○保護者から、転学して子どもが成長した、本当によかった、という言葉がいただいた時

保育士確保・定着対策事業



足立区 子ども家庭部 私立保育園課

目次

1 保育士不足の現状と対策

2 保育士確保・定着に向けた3つの支援

- (1) 就職支援 あだち福祉人材就職フェア
情報サイトに特集ページを掲載
- (2) 経済的支援 住居借上げ支援事業 ・ 奨学金返済支援
- (3) 定着支援 保育士の離職防止に向けた講演会
永年勤続褒賞

3 事業の成果と今後の方針

1 保育士不足の現状と対策

背景

「共働き世帯の急激な増加」と「働き方の変化」による**保育ニーズが高まる**一方、**保育士の深刻な人材不足**が社会問題になっている。

課題

持ち帰り残業や保護者対応などの過重労働、責任に見合わない給与水準等の低待遇が離職を招き、**新規雇用の妨げ**にもなっている。

対策

保育の担い手確保と離職防止のため、新規雇用に向けた経済的支援のほか、職場環境の改善により、**保育士が長く働き続けられる職場（キャリアパス）構築**が必要

2 保育士確保・定着に向けた3つの支援

(1) 就職支援

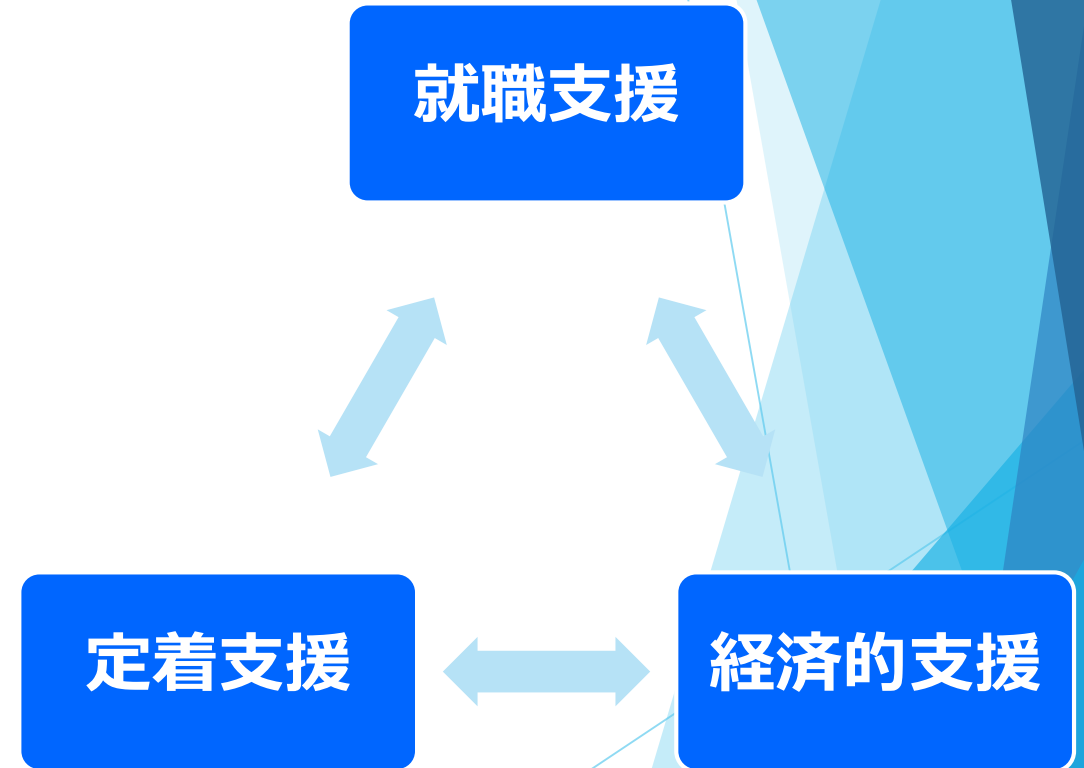
- ・ あだち福祉人材就職フェア
- ・ 求人情報サイトに特集ページを掲載

(2) 経済的支援

- ・ 住居借上げ支援事業
- ・ 奨学金返済支援

(3) 定着支援

- ・ 保育士の離職防止に向けた講演会
- ・ 永年勤続褒賞



(1) 就職支援（あだち福祉人材就職フェア）

令和7年度～
医療介護連携課と介護保険課と合同実施

幅広い人材の確保

医療介護連携課、障がい福祉課と連携し、ハローワーク足立と共催であだち福祉人材就職フェアを実施



保育士以外の介護・福祉分野で共通の栄養士や看護師、有資格者でなくてもできる周辺業務（清掃、給食準備、片付け等）を行う「保育補助者」も募集！

足立区
ハローワーク足立共催
マンスリー就職推進室

服装自由 履歴書不要 参加無料 資格不問 託児あり

～介護＆障がい＆保育のしごと就職相談・面接会～

あだち福祉人材就職フェア

足立区内の求人数！
40以上の
ブースが出展！！

※保育法人は午前・午後で入れ替え制です

日時 令和7年 **10.29 水**
10:30～15:00（最終受付14:30）

会場 シアター1010 【11階】
足立区千住3-92 千住ミルディス1番館11階

出展ブース他、さまざまな企画、コーナー有！

就業相談ブース
就業支援ブース・ハローワーク相談ブースが出展いたします。
就業に向けてのさまざまな不安や疑問などを相談できます。

スタンプラリー実施
ブースを5個以上まわって防災グッズをGetしよう。

セミナー同時開催
セミナー① 知っておきたい介護のお仕事
～自分に合った働き方を知ろう～【開催時間】10:00～12:30
セミナー② 安心・安全なコミュニケーションの基本
～福祉のお仕事場面での対応術～【開催時間】12:30～13:00

休憩スペースあり

足立区介護人材確保総合事業運営事務局
【受付時間】 平日 9:30～17:00（土日祝日除く）
0120-012-233
【お問い合わせ先】 足立区 高齢者福祉推進室 医療介護連携課 TEL:03-6807-1046 FAX:03-3899-1355

公式ホームページもご確認ください
株式会社シグマスタッフ
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区
板木町1-9-1 三谷ビル7階

詳しくは裏面へ

(1) 就職支援（あだち福祉人材就職フェア）

あだち福祉人材就職フェアの特色

地域特化型イベントのため、足立区内や周辺地域に住む「潜在保育士」や保育の仕事に携わったことのない「保育補助者」をピンポイントで採用。

1 求職側と園側の相互理解による入職後の定着率の向上

- 求職者は園長や現役保育士と直接話すことで、**求人票には表れない職場の人間関係や園の雰囲気**を把握できる。また、一度に多数の園の状況を知ることができ、より自分に合う園を選ぶことができる。
- 園側は「自園の強み」を熱量を持って直接プレゼンでき、**相談会後の園見学や就職面接につなげる**ことができる。

2 ハローワークあだちや都の保育人材・保育所支援センターブースの利用によるメリット

- 「どんな職種や働き方が自分に合うか？」「履歴書の書き方に不安がある」といった初歩的な悩みも、中立な立場で相談に乗ってくれるほか、フェア内で気になる求人が見つかった場合、**その場で応募・紹介の手続きをスムーズに進められる**。
- 保育の仕事に特化した公的な専門窓口が出張してきているため、「制度の活用」や「働き方の選択肢」、**保育事業者が教えてくれない事業所情報の検索の仕方について深い情報が得られる**。

3 採用コストの削減（区内保育法人の支援）

- 民間の就職求人広告や人材紹介会社経由での採用は、法人側に多額の手数料（1人あたり数十万円～百万円以上）が発生し経営の圧迫につながる。区が主体となって開催するフェアは、区内の民間保育事業者が無料で優秀な人材と出会える場であり、「地域全体の保育運営基盤を財政面から支える」という間接的かつ大きな効果をもたらしている。

(1) 就職支援（あだち福祉人材就職フェア）

参加者の声

- ▶ 気になる園の話を一度にたくさん聞くことができ、あまり時間がなかったが、大変効率的にブースをまわることができた。
- ▶ 求人票だけではわかりづらいことも園長先生や採用担当の方に直接訊くことができ、園の雰囲気を感じることができた。
- ▶ まとめられたPR資料がとてもわかりやすく、話をききたい園を探すのに役立った。

令和6年度・7年度実績比較

	参加事業者数	面談面接者数	後日面接者数	採用者数
令和6年度（10月8日実施・48名来場）	24法人	88	25	9
令和7年度（10月21日実施・124名来場）	18法人	72	22	5

課題

- ▶ 令和6年度までは「保育のお仕事就職面接・相談会」を私立保育園課単独で実施していたが、令和7年度は「あだち福祉人材就職フェア」として医療介護連携課と障がい福祉課と合同で実施した。保育分野と介護・障がい分野では求人層の違いがあり、保育に特化した求人という面では事業効果が薄れてしまった。
- ▶ 委託業務は医療介護連携課が行っているため、業務内容が介護・障がい部門に偏りがちになり、保育部門との差別化が難しい。
- ▶ 令和8年度は全3回実施の「あだち福祉人材就職フェア」のうち、第1回と第2回に保育部門も参加予定。実施結果を踏まえつつ、今後の対応を検討していく。

(1) 就職支援（求人情報サイトに特集ページを掲載）

令和6年8月 掲載開始

マイナビ保育士の特集ページの特色

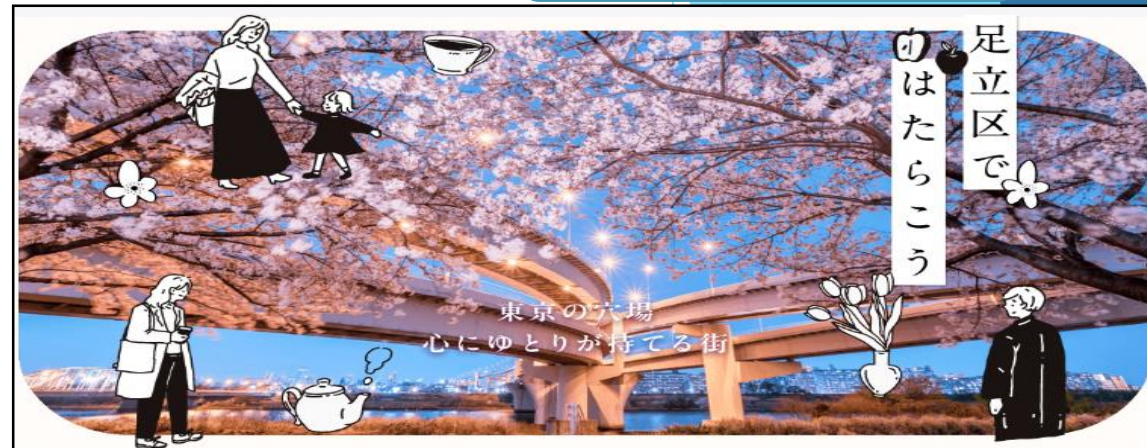
- 1 経済支援における区の支援施策である『**住居借上げ支援事業**』などを**ページの一番上に掲載**しています。
- 2 新規採用者や潜在保育士の不安を解消する『受け入れ態勢』を明示し、ブランクがある方や未経験の方が抱く不安に対して、**区が実施している手厚い研修やサポート体制の情報を掲載**しています。
- 3 単なる求人情報掲載だけでなく、『働く・暮らす』がイメージできる地域情報を掲載することで『家賃が安く、公園が多くて住みやすい』等、**足立区のリアルな住環境の魅力をセット**で伝えています。

令和7年度における事業実績

求職者と求人が マッチングした件数	2, 1 2 0 件
就業決定数	2 0 件

足立区特集ページ

こちらからご覧いただけます



サポート充実

- 月額 82,000円までの家賃補助
- 奨学金返済を年間最大 15万円補助
- 保育士の賃金改善
- 手厚い保育士配置基準
- 新卒の保育士でも安心の研修体制

足立区で働く現役保育士さんに聞いてみました！(2024年6月現在)

人の温もりを感じながら安心して暮らせる足立区が好き
足立区は働くに正真正、もちろんマイナスイメージを持っていました。でも実際に働いてみると、地域の方が明るくあいさつしてくれたり、ゴミ拾いされていたりと周囲の良さを覚えています。北千住駅はたくさんのお客さんが通って、乗り換えや交通の便の良さも生活のしやすさにつながっています。通い時間の短さでも、駅が近くにあるので安心です。子どもたちも保護者の方と一緒に地域のイベントやお祭りにも積極的に参加していて、地域全体で子どもを育てているのを感じています。

保育現場の良さと子育て支援の手厚さが測れる理由
都内なのに公園が多くて自然環境に恵まれている点と、保育の質の高さを感じました。実際に働いてみると、若い保育士からベテランまで積極的にコミュニケーションを取って、和気あいあいとした雰囲気です。足立区は一時保育や認可外保育、送迎サービスなどの子育て支援が手厚く、子育てしやすい環境なので、子どもたちののびのびしています。

あだちってこんな場所

アクセス

- 京山手線
- 東京メトロ千代田線
- 東京メトロ日比谷線
- JR常磐線
- 東武スカイツリーライン
- つくばエクスプレス
- おおよその移動時間(分)

北千住

都心に近く便利なのに、水と緑が身近でちょうどいい

西新井

東武東上線大塚駅と西新井駅が徒歩圏内、駅周辺は緑豊かな環境です。

(2) 経済的支援（住居借上げ支援事業・奨学金返済支援）

住居借上げ支援+奨学金返済支援の二本柱

家賃の 負担を軽減

保育士等住居借上げ支援事業補助金

事業者の借り上げ費用
月8.2万円まで
7/8補助

全国の自治体で実施

奨学金の 返済を軽減

保育士奨学金返済支援事業補助金

返済費用を10万円まで補助
5年以上勤続した場合
15万円までUP

23区で奨学金返済支援を実施している
のは足立区を含めて4区だけ！

平成28年度～
足立区が全国で初
めて実施

(2) 経済的支援（住居借上げ支援事業・奨学金返済支援）

住居借上げ支援＋奨学金返済支援の2本柱にする効果

手取り給与から「家賃（約6万～8万円）」と「奨学金返済（約1万～2万円）」を支払うため、生活が困窮しがちな部分を自治体が肩代わりすることで、手取り額の実質的な底上げにつながり、給与面での経済的不安の解消につなげる。住居借上げ支援と併用することで、新たな人材を現場に呼び込み、早期離職を防ぐことで中核を担う中堅職員へと育てる定着効果を発揮。

他区との差別化

奨学金返済支援は年間の助成額は他区に比べ少ないが、助成年数の上限がない。このため、奨学金を返済していれば支援を受けられる。このことが新規職員だけでなく中堅層の定着にもつながっている。

保育士の奨学金返済助成制度調査

令和8年5月調査

区 名	助成限度額	年間実績（R7年度）	助成対象施設数
千代田区	年間24万円（最大10年間）	約1,000万円（申請者 約60名）	33
荒川区	年間20万円（ひとり親家庭30万円）	約900万円（申請者 約60名）	55
足立区	年間10万円（勤続5年以上15万円）	約2,300万円（申請者 約210名）	190
葛飾区	年間24万円	約3,800万円（申請者 249名）	145

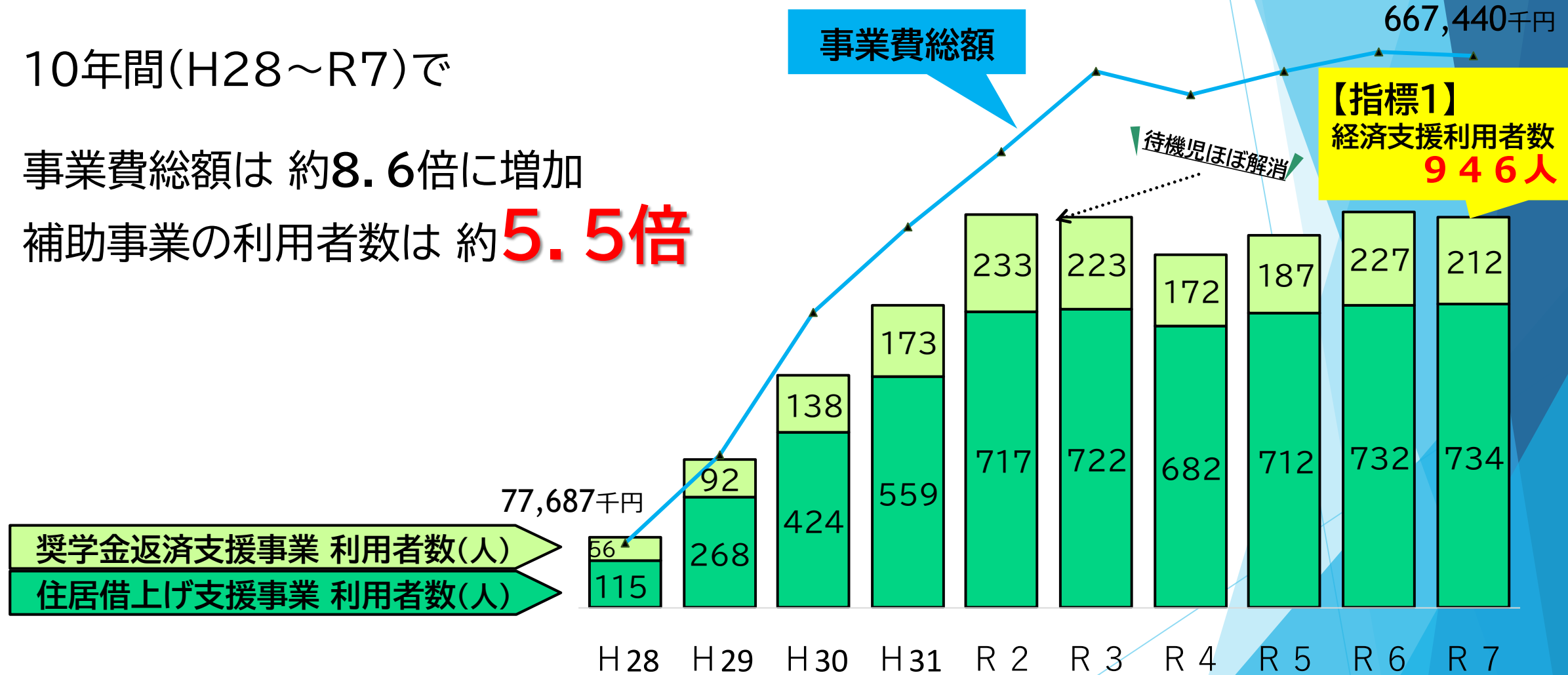
※ 特別区23区で4区が実施

(2) 経済的支援（住居借上げ支援事業・奨学金返済支援）

10年間(H28～R7)で

事業費総額は 約8.6倍に増加

補助事業の利用者数は 約**5.5倍**



(2) 経済的支援（住居借上げ支援事業・奨学金返済支援）

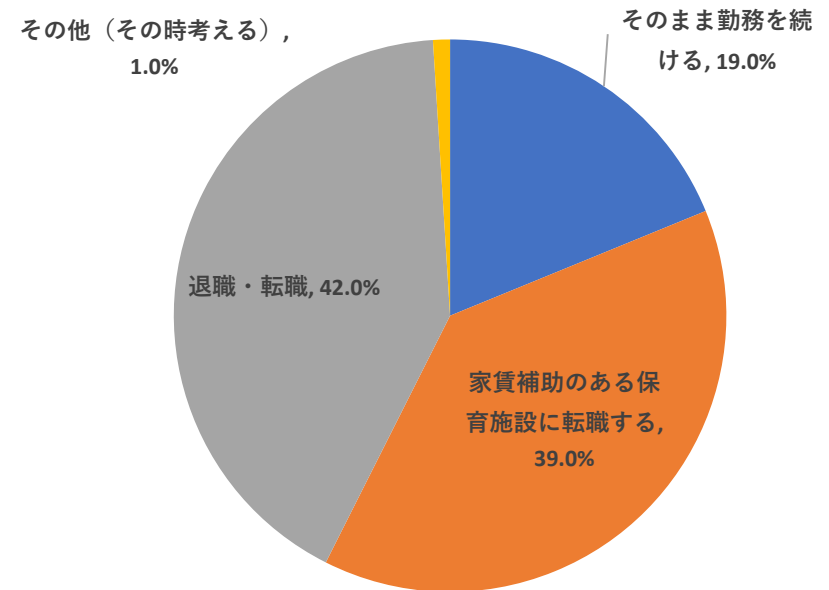
課題

- ▶ 住居借上げ支援の国補助の補助率が1/2から1/3に見直され、東京都の補填があるものの先行きが不透明である。（区の負担増の可能性）
- ▶ 住居借上げ支援の国・都補助の返還金が1億円を超える年が続いており、予算計上に課題がある。

対策

- ▶ 都の補填が無くなり、住居借上げ補助金が縮小されると、保育士の退職・転職等が予想され、社会的にも大きな影響がある。共働き世帯が増え保育のニーズが高まる中、**事業継続の必要性と費用対効果について慎重に見極める必要がある。**
- ▶ 住居借上げ支援の国・都補助の交付額は、区が各保育事業者に調査し提出される「所要額調査」に基づき決定する。実際の採用人数が予定数を下回るケースが多く、**補助実績人数と所要額調査結果（見込み人数）の乖離**があり、毎年1億円を超える返還金が生じている。一人あたり年間約86万1千円の補助について約190園が申請するため、返還金が大きくなってしまいう傾向があるが、**各事業者に対してより実態に即した報告を求めている。**

住居借上げ補助金が廃止されて、家賃などを全額負担することになった場合どうしますか



【参考】令和7年度実績
所要額調査結果（見込み人数） 949人
補助実績人数 734人

(3) 定着支援（保育士の離職防止に向けた講演会）

令和7年度から開始

就学前教育・保育施設の離職防止に向けた講演会

人を育て、チームを伸ばす 園づくり

～キャリアパスと評価を活かした育成マネジメント～

人材流動化が進む今、園の継続的な発展には「人を育てる仕組み」が不可欠です。本講演会では、好評だった前回に続き、現役の園経営者であり、保育現場の環境改善に実績をもつ菊地加奈子氏が再び登壇。管理者が「育成の方向性」と「評価の意味」をより自信をもって語れることを目指して、前回に反響が大きかった「職員一人ひとりの成長を支援する評価・フィードバック」のあり方を深堀りします！

日時 令和8年2月27日(金) 午後2時～4時

会場 足立区生涯学習センター(学びピア21) 研修室2

講師 菊地 加奈子 氏
社会保険労務士法人ワーク・イノベーション代表
特定社会保険労務士

対象者 認可保育所(私立・公設民営)、
小規模保育、認証保育所及び、
認定こども園の施設長・主任等

定員 30名程度

申込方法 以下の申請フォームから申し込み
<https://shinsei.city.adachi.tokyo.jp//apply/guide/3733>

※こちらの二次元コードからもお申込みいただけます

申込期限 令和8年1月30日(金) 午後5時

【担当】
足立区教育委員会 子ども家庭部 私立保育園課
事業調整係 富山・新村・高野
電話：03-3880-5712（直通）



保育士が離職する直接の原因として、「職場の人間関係」「仕事量の多さ」があげられており、保育士の定着には「働きやすい職場づくり」が課題である。このため保育現場の支援に精通した専門家（社会保険労務士）に外部委託し、園経営者向けの講演会（年2回）、区が実施する実態調査の支援及び、結果分析を実施し、職場環境の改善の啓発を行った。



(3) 定着支援（保育士の離職防止に向けた講演会）

第1回のアンケート意見を取り入れて、第2回はグループワークを拡充。受講者の満足度は**すべての項目について**大幅に向上した。

受講者の満足度

実施日	内 容	参加者数	分かりやすかった	実務に活かそうだと感じた	講師の説明・話し方が良かった	グループワークが有意義だった	他施設の考えや実践を知ることができた
7月29日	保育士が”働きたい”と思う園のつくり方	25人	4.7	4.3	4.5	3.8	4.0
2月27日	人を育て、チームを伸ばす園づくり ～キャリアパスと評価を活かした育成マネジメント～	24人	4.8	4.5	4.8	4.8	4.5

（参加者の声）

※ 5段階評価

- ▶ キャリアパス、育成、評価の関係性を理解し成長段階に応じた育成指導のポイントを学ぶことが出来た。
- ▶ このような機会があれば、各園の良いところ、自園の隠れた問題点を発見することができると思う。
- ▶ 配布されたキャリア支援シートを自園用にアレンジし、今後の育成に役立てていきたい。など

(3) 定着支援（永年勤続褒賞）

長く勤めた 方への感謝

保育士・家庭的保育者永年勤続褒賞

保育士・保育補助者等
5年・10年
家庭的保育者・家庭的保育補助者
10年・20年



令和6年度から対象者を
保育補助者にも拡充

中核を担う中堅職員のやりがいを後押し

保育士及び保育補助者の方へ感謝の意を表して、感謝状と区内共通商品券を贈呈

令和7年度 受賞者数

	認可 (私立)	認可 (公設民営)	認可外 (公設民営)	小規模	認証	家庭的 保育	小計
保育士 勤続5年以上6年未満	108	15	1	9	21		154
保育士 勤続10年以上11年未満	24	9	0	7	4		44
保育補助者 勤続5年以上6年未満	25	3	0	0	5		33
保育補助者 勤続10年以上11年未満	6	2	0	0	0		8
家庭的保育者 勤続10年以上11年未満						10	10
家庭的保育者 勤続20年以上21年未満						2	2
家庭的保育補助者 勤続10年以上11年未満						10	10
家庭的保育補助者 勤続20年以上21年未満						0	0
小計	163	29	1	16	30	22	261

保育士・保育補助者 5年以上 5,000円
保育士・保育補助者 10年以上 10,000円
家庭的保育者・家庭的保育補助者 10年以上 10,000円
家庭的補助者・家庭的保育補助者 20年以上 20,000円

受賞者の声

長年続けてきたことを認めてくださり、このような賞をいただけたことを大変光栄に思います。（家庭的保育者）

3 事業の成果と今後の方針

本事業の成果

【指標2】

保育士勤続5年を超える割合

(令和3年度)

(令和7年度)

22.2% ➤ 29.2%

上昇しているものの、**約3割**に留まる

【要因】

- ① 職場環境の諸課題に対して、園経営層が十分なマネジメント力を発揮できていない
- ② 転職市場の活発化により、以前より転職しやすい状況になっている
- ③ 新人のロールモデルとなる若手中堅層が減少し新人の早期離職を招いている

経済的支援のみでは、十分な効果は得られない

対 策

従来の経済的支援に加えて、
園経営層のマネジメント力向上及び、
職場環境改善の支援を拡充し、
若手中堅層の定着につなげる。

- 令和8年度から、保育士の離職防止にけた講演会を全7回の連続プログラムに拡充。各園の課題解決に向けたアクションプランの作成を支援する。
- 各園の成果をまとめ「実践事例集」を作成。区内保育施設へ広く周知・啓発する。

ご清聴ありがとうございました。



足立区 子ども家庭部 私立保育園課

写真
(街頭啓発活動の様子)

明るい選挙推進のための 常時啓発事務事業

令和8年度（令和7年度事業実施分）

選挙管理委員会事務局

今日のご説明の概要

写真
(街頭啓発活動の様子)

- 1 選挙全般の現状について
- 2 足立区の投票率
- 3 なぜ投票しないのか
- 4 若者が投票するようになるためには
- 5 現在実施している啓発事業
- 6 啓発事業に関する予算額・決算額

【選挙全般の概要】

突然ですが この数字 何だかわかりますか

4 3 3, 5 5 1

4 4 3, 5 2 1. 9 7 4

4 5 3, 4 4 0

4 6 3, 4 3 8. 8 0 4

【選挙全般の概要】

平成27年5月執行足立区議会議員選挙 開票結果

当選 43位 3,551 票

当選 44位 3,521.974 票

当選 45位 3,440 票

落選 46位 3,438.804 票

有効投票総数 238,603 票

45位と46位の差 1.196 票

【選挙全般の概要】

次に この数字 何だかわかりますか

2 1 0 , 5 6 7 , 0 0 5
2 3 5 , 8 9 5 , 7 5 8
2 5 7 , 6 0 0 , 2 3 0
3 1 5 , 3 8 7 , 2 3 5
3 0 7 , 7 7 3 , 8 2 2
2 8 3 , 6 2 0 , 6 6 7
2 5 6 , 5 3 8 , 0 6 0
2 8 0 , 1 1 6 , 1 1 0
2 8 0 , 1 1 6 , 1 1 0
3 0 4 , 2 9 3 , 2 5 0

【選挙全般の概要】

選挙執行経費です

令和3年	東京都議会議員選挙	(決算額)	2 1 0 ,	5 6 7 ,	0 0 5 円
令和3年	衆議院議員選挙	(決算額)	2 3 5 ,	8 9 5 ,	7 5 8 円
令和4年	参議院議員選挙	(決算額)	2 5 7 ,	6 0 0 ,	2 3 0 円
令和5年	区議・区長選挙	(決算額)	3 1 5 ,	3 8 7 ,	2 3 5 円
令和6年	都知事・都議補選	(決算額)	3 0 7 ,	7 7 3 ,	8 2 2 円
令和6年	衆議院議員選挙	(決算額)	2 8 3 ,	6 2 0 ,	6 6 7 円
令和7年	東京都議会議員選挙	(概 算)	2 5 6 ,	5 3 8 ,	0 6 0 円
令和7年	参議院議員選挙	(概 算)	2 8 0 ,	1 1 6 ,	1 1 0 円
令和8年	衆議院議員選挙	(概 算)	3 0 4 ,	2 9 3 ,	2 5 0 円

【選挙全般の概要】

選挙事務従事の状況（令和8年2月8日執行 衆議院議員選挙）

従事場所	設置数	設置場所	従事数
当日投票所	77	区立小中学校（64） 区施設（12） 町会会館（1）	709
期日前投票所	13	区役所本庁舎中央館2階 千住庁舎 地域学習センター（梅田・佐野・舎人・花畑） 住区センター（扇・押皿谷） 勤労福祉会館 鹿浜いきいき館 竹の塚センター シアター1010 アリオ西新井	延べ 1,413 ＋ 人材派遣
開票所	2	足立区総合スポーツセンター（13区） 区役所本庁舎1階アトリウム（29区）	603 364

【選挙全般の概要】

次に この数字 何だかわかりますか

5 7 5 , 2 8 6

5 3 . 4 0

4 4 . 0 8

【選挙全般の概要】

令和8年2月執行 衆議院議員選挙

選挙人名簿登録者_(公示日時点) 5 7 5 , 2 8 6 名

投票率_(13区・29区合算) 5 3 . 4 0 %

※投票率は23区で最下位です

投票者のうち期日前投票をした人の割合
4 4 . 0 8 %

【足立区の投票率】

「東京都平均投票率との比較」と「23区での順位」

	東京都平均	足立区	順位
令和6年度 都知事選挙	60.62%	55.18%	23位（60位）
// 衆議院議員選挙	56.06%	50.46%	23位（60位）
令和7年度 都議会議員選挙	47.59%	46.10%	16位（43位）
// 参議院議員選挙	61.53%	56.79%	23位（54位）
// 衆議院議員選挙	59.16%	53.45%	23位（60位）

【足立区の投票率】

「地図にしてみました」と 「投票所別の投票率」

投票率色分け(共通)

65%~ 理想です

60%~65% 青

55%~60% 水色

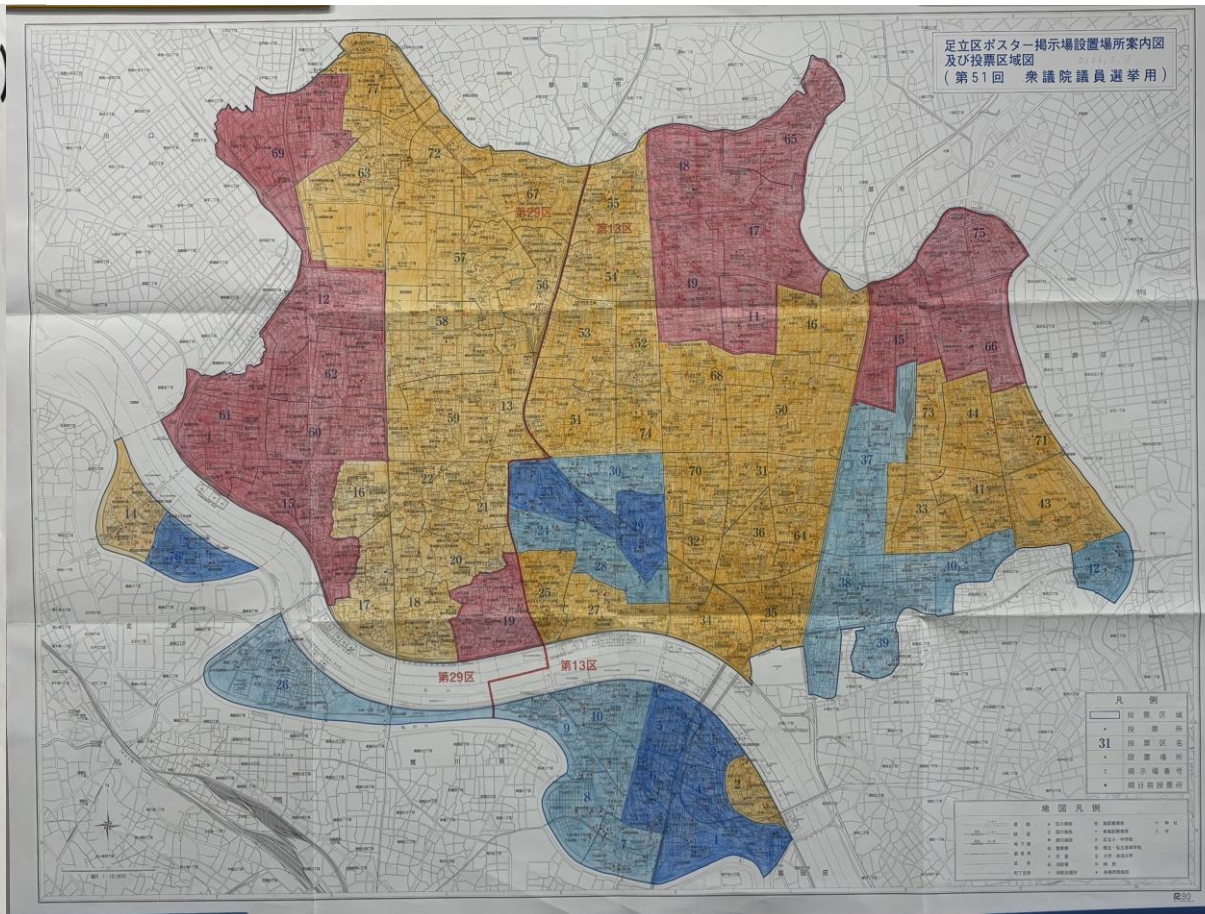
50%~55% オレンジ

45%~50% 赤

40%~45% 紫

35%~40% 黒

35%~ まずいです



(投票率上位)

61.93%	千寿常東小
61.79%	千寿本町小
61.82%	千住庁舎
61.49%	栗原小
61.39%	千寿第八小
61.19%	新田学園第二校舎

(48%未満)

47.66%	六木小
47.51%	中川北小
46.48%	桜花小
46.41%	湊江中
45.39%	花畑中

【なぜ投票しないのか】

参議院の投票棄権理由「選挙に関する世論調査 令和7年7月 20 日執行参議院議員選挙」より抜粋

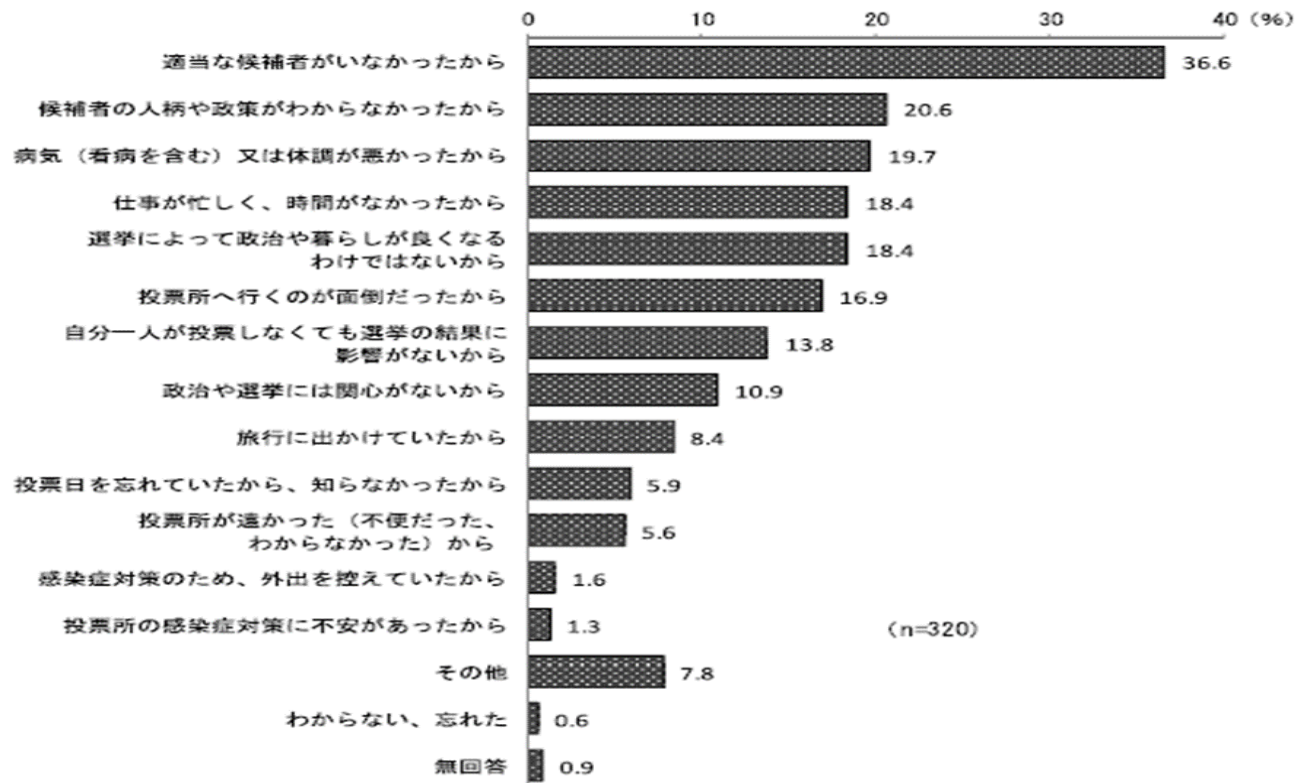
(1-6) 棄権理由〔問4-6〕(M. A.)

◇「適切な候補者がいなかったから」が3割台半ば

【問4で「3 投票しなかった」と回答した方に】

問4-6 あなたが、投票しなかったのはどうしてですか。次の中からいくつでも選んでください。

図2-26 棄権理由 (複数回答)



36.6% 適切な候補者がいなかったから

20.6% 候補者の人柄や政策がわからなかったから

18.4% 選挙によって政治や暮らしが良くなるわけではないから

16.9% 投票所へ行くのが面倒だったから

13.8% 自分一人が投票しなくても選挙の結果に影響がないから

【若者が投票するようになるためには】

「選挙に関する世論調査 令和7年7月 20 日執行参議院議員選挙」より抜粋

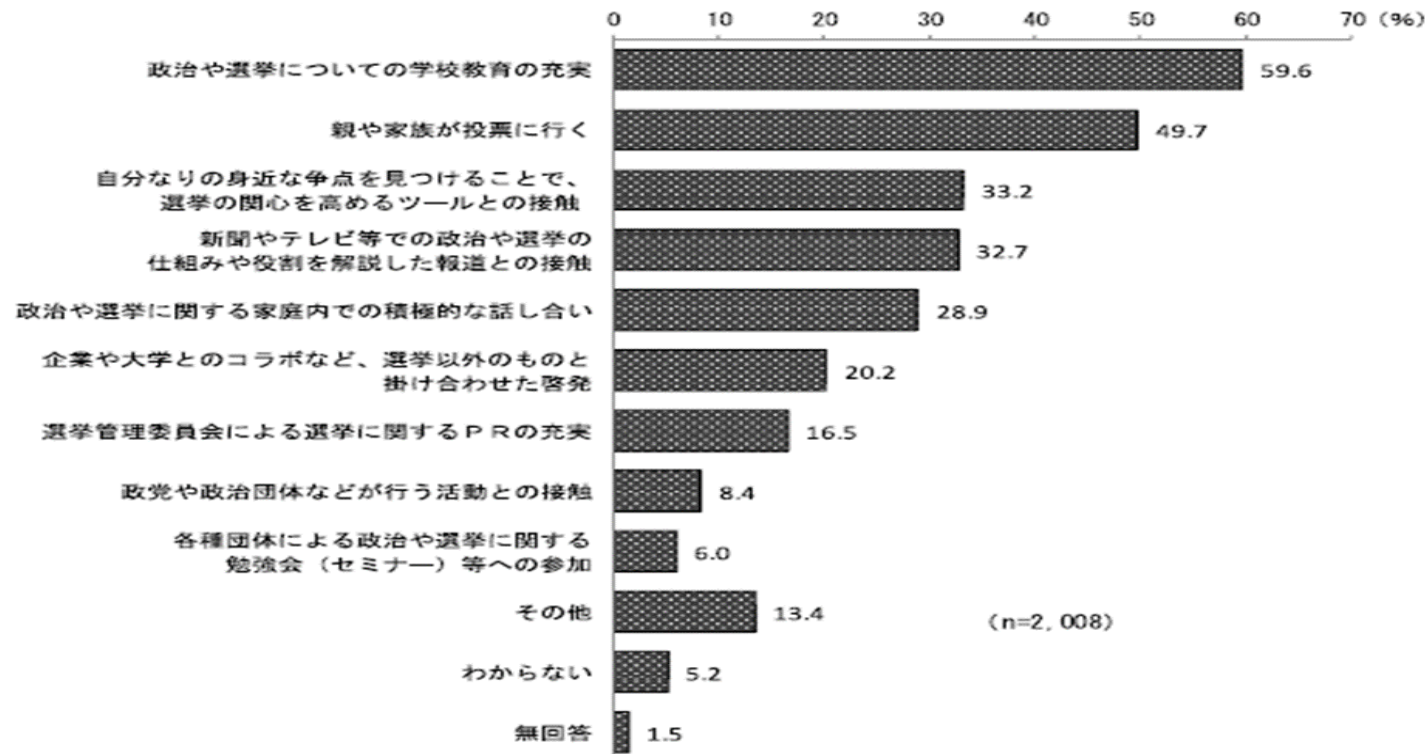
8. 若年層の選挙

(1) 若年層の政治や選挙に関する意識〔問 14〕(M, A,)

◇「政治や選挙についての学校教育の充実」が約6割

問14 全体の投票率からみると、若年層の投票率は低いと言われていますが、今後、若年層の政治や選挙に関する意識を高めるためにはどのようにしたらよいと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

図8-1 若年層の政治や選挙に関する意識（複数回答）



59.6% 政治や選挙についての学校教育の充実

49.7% 親や家族が投票に行く

〔参考〕

投票所に入ることができる子どもの範囲が拡大されたことを知っていた

16.6%

※現在は18歳未満なら投票する人と一緒に投票所に入場することができます。

【現在実施している啓発事業】

〔事務事業名〕 明るい選挙推進のための常時啓発事務

目的

- 1 選挙人の政治に対する意識の向上
- 2 特に若者層の政治に対する意識の向上
- 3 投票率の向上

【現在実施している啓発事業】

〔事務事業名〕 明るい選挙推進のための常時啓発事務

内容

- 1 明るい選挙推進委員セミナー（年2回）
- 2 選挙四季の発行
- 3 明るい選挙推進啓発ポスターコンクール
- 4 若者層に向けた啓発事業

【現在実施している啓発事業】

〔事務事業名〕 明るい選挙推進のための常時啓発事務

問題は・・・

どうすれば政治に対する意識を向上させられるのか？

どうすれば投票率を向上させられるのか？

そして、

啓発の効果はすぐに出るのか？

【現在実施している啓発事業】

〔事務事業名〕 明るい選挙推進のための常時啓発事務

1 中・長期的な投票率向上を目指した啓発 (高校生、中学生、小学生に向けた啓発)

→ 出前授業、模擬選挙、ポスターコンクール

2 イベント的な啓発(多世代に向けた啓発)

→ 街頭啓発、区内イベント出展(模擬投票)

【現在実施している啓発事業】

中・長期的な投票率向上を目指した啓発（高校生、中学生、小学生に向けた啓発）

〔出前授業・ミニ講和実施数〕

令和7年度	実施数
小学校	2校（171名）
中学校	13校（1839名）
高校	3校（647名）

令和8年度	予定数(6月1日現在)
小学校	16校
中学校	7校
高校	4校

※急な衆議院議員選挙で特別支援学校を含む3校が中止。

〔職場体験・インターンシップ受入数〕

令和7年度	人数
中学生	3校（8名）
高校生	1校（2名）
大学生	4校（11名）

令和8年度	予定数(6月1日現在)
中学生	8校
高校生	3校
大学生	1校

職場体験・インターンシップ内容

【現在実施している啓発事業】

中・長期的な投票率向上を目指した啓発（高校生、中学生、小学生に向けた啓発）

写真
（出前授業の様子）

【現在実施している啓発事業】

中・長期的な投票率向上を目指した啓発（高校生、中学生、小学生に向けた啓発）

〔出前授業に参加した児童・生徒の声 とアンケート結果〕

模擬選挙を通じ、選挙の大切さを知ることができた。

若者の投票率を低下を見て、改めて選挙に行くことの重要性が分かった。

投票して終わりでではなく、投票した人の今後を責任を持って見守るということのも大切だと感じた。

実際に体験をして、難しいイメージが払拭された

行かない
0%

分からない
8%

行ってみたい
92%

18歳になったら
投票に行きますか？

【現在実施している啓発事業】

中・長期的な投票率向上を目指した啓発（高校生、中学生、小学生に向けた啓発）

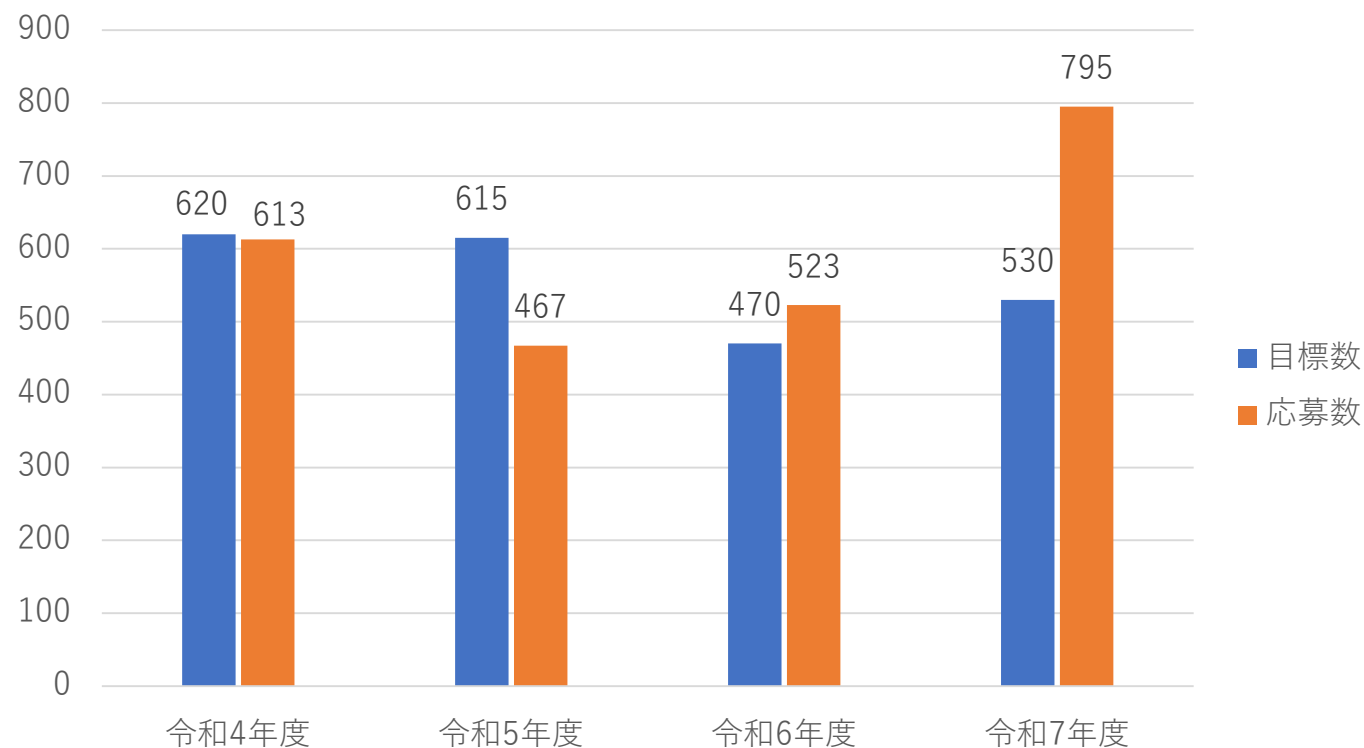
足立区明るい選挙 ポスターコンクール

区内在住・在学の小学生・中学生・高校生を対象に、選挙のPRポスター作品を募集。

入賞及び佳作作品はポスターコンクール展にて期間中展示している。
（入賞者に表彰式にて賞状・記念品、応募者全員に参加賞あり）



（単位：出品数）



【現在実施している啓発事業】

イベント的な啓発（多世代に向けた啓発）

〔予定選挙時の街頭啓発活動〕

（令和6年度まで）区内主要駅周辺で実施

（令和8年度から）投票率の低い地域での啓発活動を検討

写真

（街頭啓発活動の様子）

【現在実施している啓発事業】

イベント的な啓発（多世代に向けた啓発）

〔イベント会場における啓発活動〕

（令和7年度から）あだち区民まつり、舎人公園千本桜まつりなどへの
出展を復活

写真
（イベント会場の様子）

【現在実施している啓発事業】

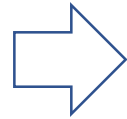
イベント的な啓発（多世代に向けた啓発）

〔イベント会場における啓発活動〕

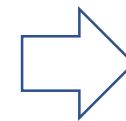
〔模擬投票実施〕



シールのデザインや
作成するグッズを
選んで投票



結果をホームページで
公表



ほんとうに
つくりました

① 「エラビー→」 シールデザイン総選挙

あだち区民まつり	…	1, 706人
文教大学華叉祭	…	452人

② 「エラビー→」 グッズ総選挙

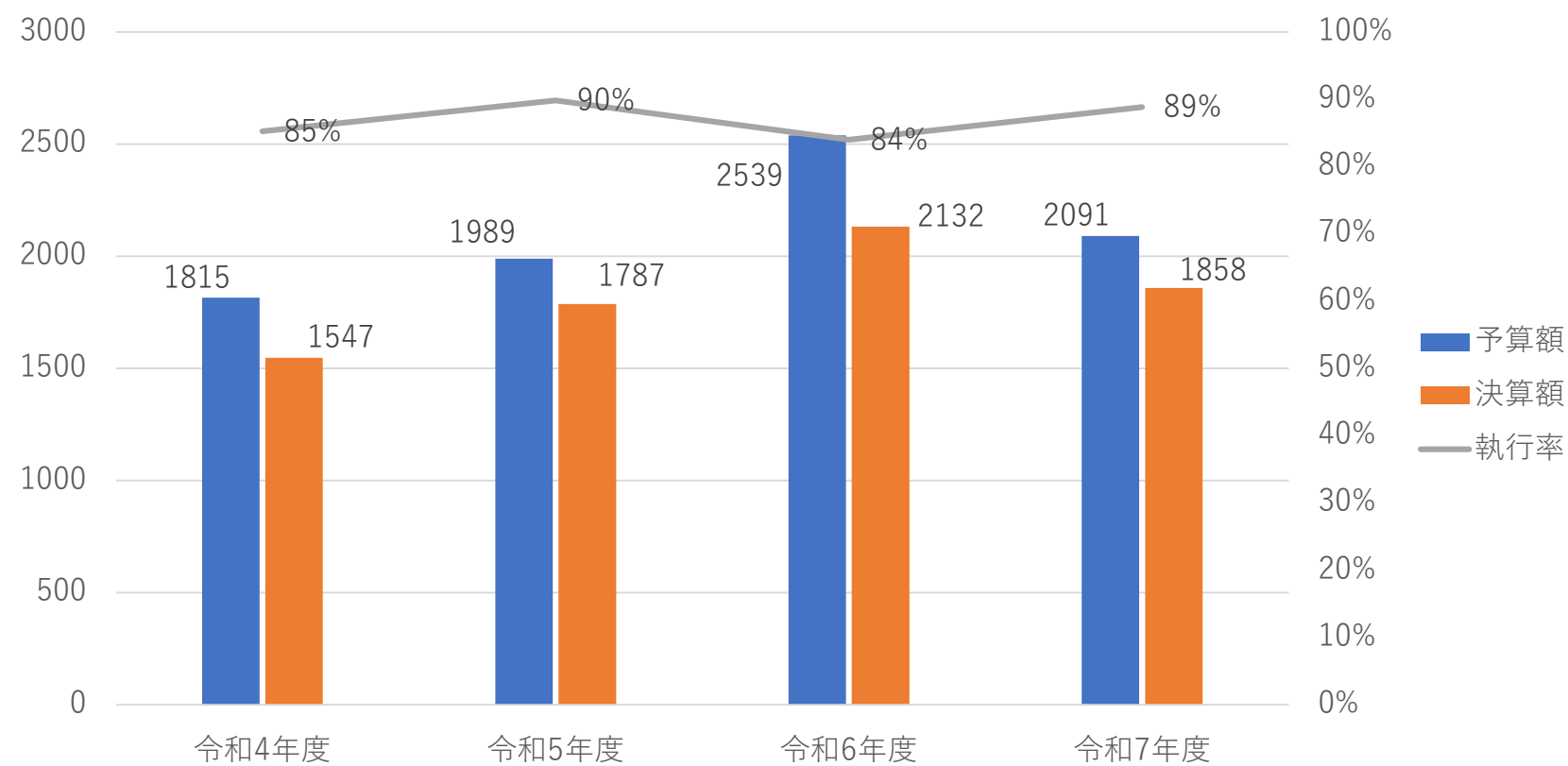
舎人公園千本桜まつり	…	1, 914人
------------	---	---------



【啓発事業に関する予算額・決算額】

「各年度の予算・決算の比較」 及び 「主な経費」

(単位：千円)



【主な経費】

- ・ 明るい選挙推進委員活動費
- ・ 選挙四季発行費
- ・ 常時啓発用物品
- ・ ポスターコンクール賞品、賞状

【予算計上額と執行額】

- 1 物価高騰等により予算額は増加傾向にある
- 2 執行率は概ね8～9割を維持している

ご清聴
ありがとう
ございました。

